

# 阿寒摩周国立公園内における 釧路地域エゾシカ越冬期集中捕獲事業について



発注者：北海道釧路総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係  
受託者：北泉開発 株式会社

## ○事業概要

農水省の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、農林業被害の防止を目的として、道内4箇所で越冬期に集中的に捕獲を実施するもの。令和6年度からの3カ年事業。  
〔上川管内（南富良野町）、オホーツク管内（小清水町）、根室管内（根室市）〕

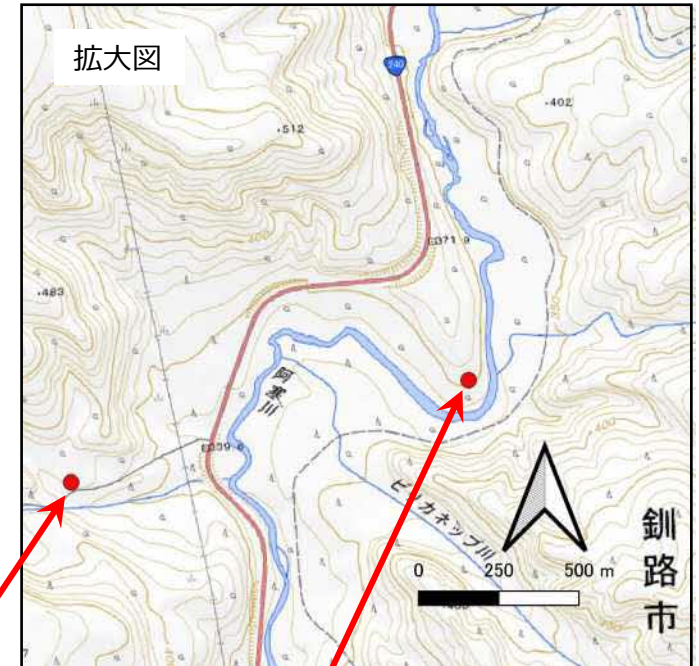
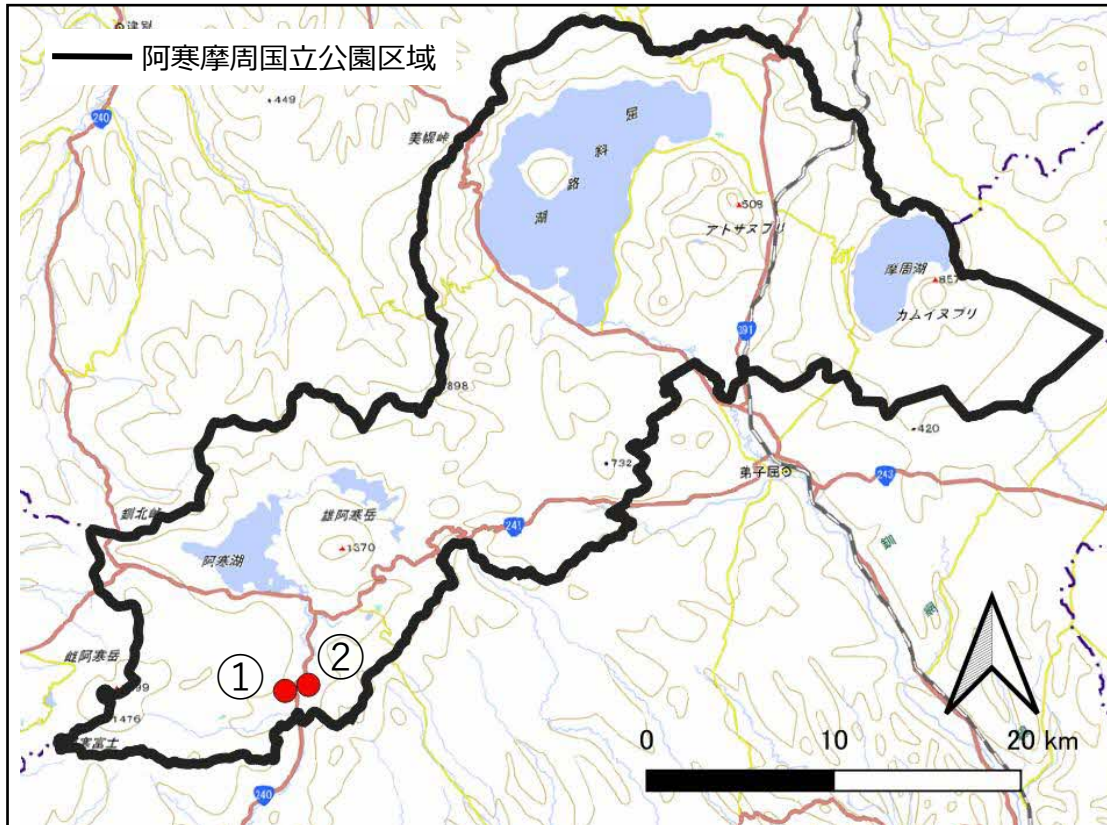
## ○釧路管内での実施状況

本年度は捕獲に注力するため、生息密度等から捕獲の見込める釧路市阿寒町で囲いわな2基を運用

	令和6年度	令和7年度
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 釧路市阿寒町【カメラ・ドローン調査、捕獲】</li> <li>・ 標茶町【カメラ・ドローン調査】</li> </ul>	釧路市阿寒町【捕獲】
作業期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ わな設置 R6.12.24 ~ R7.3.12（計78日間）</li> <li>・ 捕獲期間 R7.1.8 ~ R7.3.9（計61日間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ わな設置 R7.11.24 ~</li> <li>・ 捕獲期間 R7.12.23 ~</li> </ul>
捕獲手法	中型囲いわな 1基	中型囲いわな 1基 大型囲いわな 1基 計2基
給餌	ベースペレット	ベースペレット
固体処理	生体捕獲し食肉事業者へ搬入。死亡個体は、減容化施設へ搬入	生体捕獲し食肉事業者へ搬入。死亡個体は、減容化施設へ搬入
捕獲目標	70頭	150頭
捕獲結果	24頭	58頭 ※R8.2.24時点

## ○R7捕獲場所

- ① 釧路市阿寒町シアンヌ4 - 1 (R6年度から継続)
- ② 釧路市阿寒町シアンヌ5 - 3 (今年度から新規)



①シアンヌ4-1  
 中型囲いわな:周囲長43m  
 捕獲数:28頭

②シアンヌ5-3  
 大型囲いわな:周囲長:54m  
 捕獲数:30頭

出典  
 ・国土交通省国土数値情報ダウンロードサイト (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>) から引用・加工  
 ・国土地理院地図 (<https://www.gsi.go.jp/>)

## ○今年度の実施状況

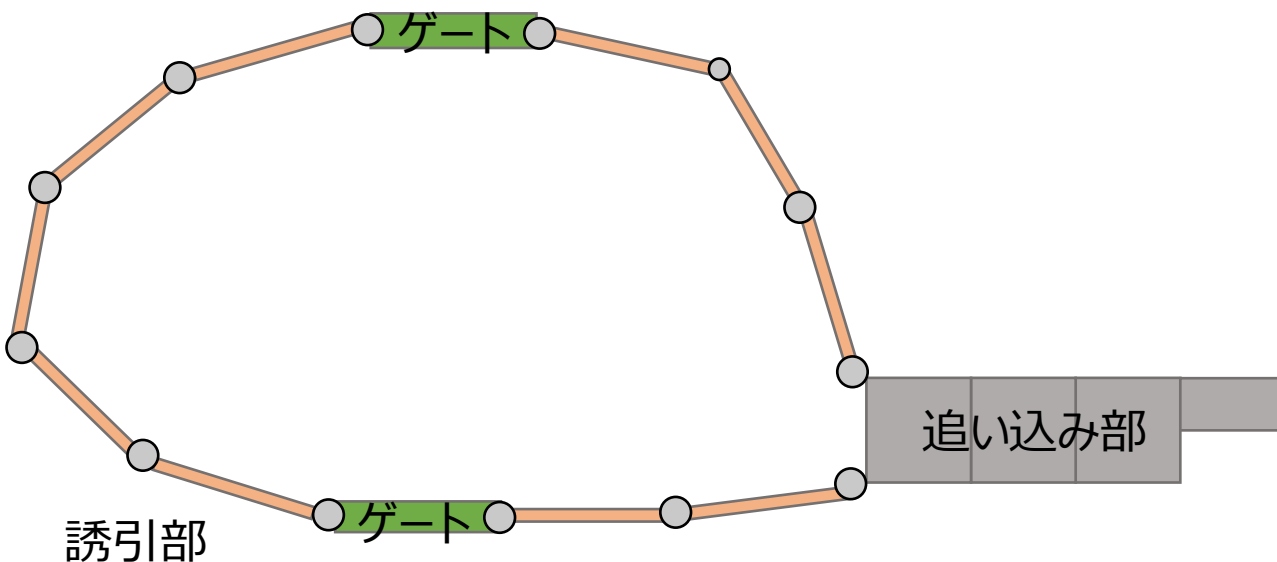
昨年度よりわな設置時期を1ヶ月ほど前倒し、慣らし期間を確保。  
 その他、昨年事業を踏まえ更なる捕獲数確保のために改善（後述）。

捕獲場所	わな規模	設置期間	捕獲期間	捕獲回数	捕獲数	R6捕獲数
シアンヌ4-1	中型わな (周囲長43m)	R7.11.24～	R7.12.23～R8.3月中旬	13回	28頭	24頭
シアンヌ5-3	大型わな (周囲長54m)	R7.12.5～	R7.12.24～R8.3月中旬	13回	30頭	

①シアンヌ4-1



②シアンヌ5-3



罠いわな平面図  
 両わなともダブルゲート仕様で設置

○昨年度からの改善、試行

**(1) ゲートの高さ、材質の改善**

- (2) わなの規模を1基のみ大型囲いわなへ改善
- (3) 誘引期間を確保し、わなへの慣らし方の工夫
- (4) ゲート同士の位置の改善
- (5) わなに立木を入れ込む



○昨年度のゲート  
材質：コンパネ  
高さ：約1.5m



○今年度のゲート  
材質：テント生地  
高さ：約2.5m

○昨年度からの改善、試行

- (1) ゲートの高さ、材質の改善
- (2) わなの規模を1基のみ大型囲いわなへ改善
- (3) 誘引期間を確保し、わなへの慣らし方の工夫**
- (4) ゲート同士の位置の改善**
- (5) わなに立木を入れ込む**



○誘引期間

R6：約14日間⇒R7：約30日間

○慣らし方

わな設置当初は、一時的にコンパネを数枚外し設置。

捕獲前残りのコンパネを設置。



○ダブルゲート位置の改善

R6：反対側の景色が見えない。  
(象の鼻の反対側と横に設置)

R7：反対側の景色が見えるよう設置



○わなの中に立木をいれる

シカが警戒心を抱かない様に立木5本を入れた形で設置。

## ○改善点、試行の効果

<p>(1) ゲートの高さ材質</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【高さ】警戒してわなに入る仕草が減少。効果あり。</li> <li>・【材質】凍結により、ゲートが下まで落ちない。 オスが破壊、逃走(外気温-16℃)。</li> </ul>
<p>(2) わなの規模の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5-3は、R7からの実施。4-1と比較した捕獲数としては、大きな違いなし。 捕獲作業、設置作業では、追い込みを2名から3名へ増員。強度が必要になるため、誘引部に控えの設置など労力必要。</li> </ul>
<p>(3) 誘引期間の確保 慣らし方の工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期間の延長は、餌やわなにエゾシカが慣れることが出来る。パネル数枚を時間差で設置する方法については、今後要検証。</li> </ul>
<p>(4) ゲート位置の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放的な構造となり、有効と考えるが、4-1については、R6とシカ道の状態が変わり、ワンゲートが有効だった可能性。</li> </ul>
<p>(5) わなに立木を入れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追い込みの支障となるが、カメラ外の立木下に隠れていたシカが捕獲され効果あり。</li> </ul>

## ○課題

- ・凍結などゲートトラブル ⇒10頭程捕獲個体が逃走
- ・オスシカによる餌場占領 ⇒2月はオス排除のため、オスを優先的に捕獲
- ・遠くからの誘引手法 ⇒積雪の影響で設置範囲が限定
- ・わな設置期間を延長したことによるヒグマへの影響 ⇒自然環境に配慮した餌選定



## ○来年度に向けて

- ・3カ年事業の最終年度。引き続き、阿寒摩周国立公園での捕獲実施を検討。  
(実施場所・箇所数、実施方法は未定。)
- ・ゲート高さ変更や立木を活かした設置については、効果が得られた。  
過去2年の捕獲手法の効果を検証。

# エゾシカ指定管理モデル地域における取り組み 「銃猟禁止区域内でのエゾシカ捕獲事業」について

R8.3.5 釧路総合振興局環境生活課

## 1 経緯等

### (1) 経緯

- 「北海道エゾシカ管理計画（第6期）」において、効果的な資源管理体制の構築に向けた検討や取組を進めるモデル地域として厚岸町を選定し、道と道総研で取組を進めているところ。
- 検討会議において、「国有林・道有林の銃猟禁止区域で狩猟ができる仕組みを作ってはどうか」と提案があり、事業実施に向け調整を行ってきたところ。

### (2) 事業想定

- 国有林・道有林の銃猟禁止区域はエゾシカ捕獲していないため、擦れていない個体が多い。
- 森林施業予定区域を銃猟禁止区域と設定しているが、休工日であれば狩猟が可能と想定。
- 森林施業者が除雪を実施するので、積雪期も狩猟実施が可能。

## 2 関係者との調整状況

### (1) 猟友会

町外のハンターが入ることの同意が得られず狩猟では不可⇒町内のハンターによる有害駆除で実施

### (2) 土地所有者

#### (ア) 国有林

令和7年度は厚岸町内で森林施業がないため、基本的に可能

#### (イ) 道有林

施業が予定されている地区が複数あるが、森林施業者の同意が得られた場合は実施可能

### (3) 森林施業者

- 日曜日は森林施業がないため実施は可（A社）
- ハンターが入ると事業に影響があるため実施不可（B社）

### (4) 厚岸町

- 有害駆除で実施することは可能（予算を当該事業に活用）
- 国有林・道有林事業に係る捕獲許可申請、入林許可手続きは町が行う

## 3 事業内容

### 【国有林】

- ・実施場所 上尾幌銃猟禁止区域（62林班、63林班） ※市街地と近いため毎年禁止区域  
※森林管理署と厚岸町により連携協定を締結し、協定に基づく取組として実施  
（森林管理署：エサの購入、除雪、厚岸町：エサによる誘引、捕獲実施）
- ・実施期間 2月の毎週 月・木
- ・捕獲方法 流し猟（2名1組で1日1組）※捕獲する1週間前から誘引を開始
- ・捕獲従事者 北海道猟友会厚岸支部（町の有害駆除）
- ・出猟状況 出猟数：6回 参加延べ人数：12名 捕獲数：0頭

### 【道有林】

- ・実施場所 末広地区銃猟禁止区域（4林班）
- ・実施期間 2月の毎週 日曜日（森林施業者の休工日となる日曜日に捕獲を実施）
- ・捕獲方法 流し猟（2名1組で1日1組）
- ・捕獲従事者 北海道猟友会厚岸支部（町の有害駆除）
- ・出猟状況 出猟数：4回 参加延べ人数：8名 捕獲数：2頭

## 4 今後について

- 今回は試行的な実施であったが、土地所有者や関係者と事前調整を行うことで、銃猟禁止区域で安全面に問題がない事業を実証できた。
- 国有林（根釧西部森林管理署）、道有林（森林室）、厚岸町、猟友会厚岸支部、道総研、振興局で、今回の捕獲事業について検証等を実施予定（3/3）